



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス

コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高井 平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 河田 肇

TEL 086-245-1112

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	46,425	44.1	711	158.2	705	160.4	470	338.1
24年6月期第2四半期	32,209	5.4	275	△5.4	271	△2.2	107	△31.2

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 486百万円 (889.8%) 24年6月期第2四半期 49百万円 (△71.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	83.77	—
24年6月期第2四半期	19.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第2四半期	33,865	2,714	8.0	483.87
24年6月期	28,298	2,284	8.1	407.18

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 2,714百万円 24年6月期 2,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,867	24.2	1,182	54.2	1,146	52.9	672	94.4	119.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年6月期2Q	6,250,000 株	24年6月期	6,250,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年6月期2Q	639,155 株	24年6月期	639,155 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期2Q	5,610,845 株	24年6月期2Q	5,610,874 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は464億25百万円（前年同期比 44.1%増）、連結経常利益は7億5百万円（前年同期比 160.4%増）、連結四半期純利益は4億70百万円（前年同期比 338.1%増）となりました。

なお、連結売上高及び連結経常利益の増加率に比べ、連結四半期純利益の増加率が高いのは、平成24年11月29日に公表いたしましたとおり、サンセイ医機株式会社に対して東京電力株式会社より賠償金が支払われたため、特別利益として受取補償金1億36百万円を計上したためです。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。平成24年1月に連結対象となったサンセイ医機株式会社（福島県郡山市）の業績加算が主な要因ですが、そのほかにも、商権獲得が進んだ島根、山口、愛媛、徳島、高知の売上高は、前年同期比で10%超の増収となりました。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比184.0%となりました。

整形外科関連商品は、平成23年6月に株式会社カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響から回復したことに加え、関西地域（大阪、奈良、兵庫）や愛媛、徳島でのシェアアップが進みました。これに、サンセイ医機株式会社の業績が上積みされ、整形外科関連商品全体の売上高は前年同期比122.1%となりました。

循環器関連商品は、償還価格改定に伴う販売単価の下落が業績を下押しするなか、アブレーション（不整脈治療用のカテーテル）を中心とした商権や血管造影検査用の放射線装置の獲得等で、岡山、愛知、山口、香川、徳島で前年同期比二桁の増収となるなど健闘し、売上高は前年同期比118.6%となりました。

その他、病院の新設・移転や増改築案件に係わる設備・備品の販売が好調であったため、医療器材事業は、売上高407億10百万円（前年同期比 53.3%増）、営業利益7億60百万円（前年同期比 143.7%増）となりました。

〈ライフサイエンス事業〉

免疫系試薬の販売が大きく伸びましたが、前年同期の大型案件販売の反動で、診断薬領域の売上高は前年同期比91.7%となりました。

基礎研究領域の売上高は、引き続き科学研究費が抑制され予算執行の動き出しが鈍く、買い控えが継続していることに加え、診断薬領域と同様に前年同期の大型案件販売の反動から、前年同期比93.2%となりました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高21億39百万円（前年同期比 6.5%減）、営業損失32百万円（前年同期 営業損失27百万円）となりました。

〈SPD事業〉

病院での使用材料は微増したものの、低利益率の商材が多く、売上高・売上総利益ともにわずかな伸びに留まりました。また新規受託先が2施設増えましたが、顧客増に伴い人件費も増加しました。

その結果、SPD事業は、売上高47億56百万円（前年同期比 3.3%増）、営業利益32百万円（前年同期比 4.1%減）となりました。

〈介護用品事業〉

平成23年6月期より営業エリアの拡大策をとり、相次いで営業拠点を新設しており、平成24年11月にも新たに神戸支店を開設しました。隣接する拠点からの迅速な対応に加え、ケアマネージャーの採用によりサービス力の強化を図っています。その結果、在宅ベッドに代表される介護レンタル、物品販売、住宅改修のいずれも前年同期比で20%を越える増収となりました。新規出店費用及び営業社員の拡充等の投資がまだ先行しているため、介護用品事業は、売上高4億83百万円（前年同期比 24.4%増）、営業利益18百万円（前年同期比 19.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は338億65百万円となり、前連結会計年度と比べ55億66百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が6億63百万円、受取手形及び売掛金が44億90百万円、商品が6億32百万円増加した一方で、有形固定資産が6百万円、無形固定資産が55百万円減少したことによるものであります。

また、負債は311億50百万円となり、前連結会年度と比べ、51億36百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が43億59百万円、短期借入金が18億58百万円増加した一方で、長期借入金が6億78百万円減少したことによるものであります。

純資産は27億14百万円となり、前連結会計年度と比べ、4億30百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により4億70百万円増加した一方で、配当金により56百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、0.1ポイント減少し、8.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は前連結会計年度末に比べ6億39百万円増加し、61億6百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、3億7百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益により8億36百万円、仕入債務の増加により43億59百万円それぞれ増加した一方で、売上債権の増加により44億90百万円、たな卸資産の増加により6億32百万円、法人税等の支払額により3億64百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、1億38百万円となりました。

主な要因は、定期預金払戻により7百万円増加した一方で、定期預金預入により31百万円、有形固定資産の取得により91百万円、無形固定資産の取得により17百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、10億86百万円となりました。

主な要因は、短期借入金が14億3百万円増加した一方で、長期借入金が2億22百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年8月10日に公表いたしました平成25年6月期の連結業績予想を修正しております。その内容につきましては、平成25年1月25日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,752,055	6,415,283
受取手形及び売掛金	14,090,323	18,581,158
商品	3,180,076	3,812,314
その他	767,382	604,325
流動資産合計	23,789,837	29,413,082
固定資産		
有形固定資産	2,878,036	2,871,436
無形固定資産		
のれん	475,087	417,608
その他	153,119	154,750
無形固定資産合計	628,207	572,358
投資その他の資産	1,002,454	1,008,211
固定資産合計	4,508,698	4,452,005
資産合計	28,298,536	33,865,088
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,506,614	22,866,435
短期借入金	3,367,640	5,226,500
未払法人税等	348,440	231,556
賞与引当金	13,740	14,752
その他	1,017,589	731,796
流動負債合計	23,254,025	29,071,039
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	1,637,291	958,731
退職給付引当金	322,364	322,096
役員退職慰労引当金	638,800	656,193
その他	111,430	102,112
固定負債合計	2,759,885	2,079,134
負債合計	26,013,910	31,150,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	2,158,424	2,572,356
自己株式	△834,122	△834,122
株主資本合計	2,275,801	2,689,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,823	25,180
その他の包括利益累計額合計	8,823	25,180
純資産合計	2,284,625	2,714,914
負債純資産合計	28,298,536	33,865,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	32,209,059	46,425,457
売上原価	28,786,250	41,610,729
売上総利益	3,422,809	4,814,728
販売費及び一般管理費	3,147,210	4,103,229
営業利益	275,599	711,498
営業外収益		
受取利息	1,523	868
受取配当金	1,124	1,130
受取保険金	582	7,807
持分法による投資利益	439	181
貸倒引当金戻入額	6,053	—
その他	7,615	20,642
営業外収益合計	17,338	30,630
営業外費用		
支払利息	21,063	31,916
その他	809	4,293
営業外費用合計	21,873	36,209
経常利益	271,064	705,919
特別利益		
有形固定資産売却益	964	850
受取補償金	—	136,794
特別利益合計	964	137,645
特別損失		
有形固定資産除却損	75	2,299
投資有価証券評価損	4,326	—
役員退職慰労金	—	5,000
特別損失合計	4,402	7,299
税金等調整前四半期純利益	267,626	836,265
法人税、住民税及び事業税	56,756	247,761
法人税等調整額	103,577	118,463
法人税等合計	160,333	366,224
少数株主損益調整前四半期純利益	107,293	470,041
四半期純利益	107,293	470,041

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	107,293	470,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,152	16,356
その他の包括利益合計	△58,152	16,356
四半期包括利益	49,140	486,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,140	486,397
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	267,626	836,265
減価償却費	110,207	120,417
のれん償却額	22,761	57,479
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,463	△30,392
受取利息及び受取配当金	△2,648	△1,999
受取補償金	—	△136,794
支払利息	21,063	31,916
持分法による投資損益(△は益)	△439	△181
有形固定資産売却損益(△は益)	△964	△850
有形固定資産除却損	75	2,299
投資有価証券評価損益(△は益)	4,326	—
売上債権の増減額(△は増加)	△890,123	△4,490,835
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119,452	△632,237
仕入債務の増減額(△は減少)	1,140,452	4,359,820
その他	△88,812	△206,744
小計	456,609	△91,838
利息及び配当金の受取額	2,642	2,039
利息の支払額	△22,716	△34,719
補償金の受取額	—	147,764
法人税等の支払額	△258,523	△364,595
法人税等の還付額	8,404	33,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,416	△307,892
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	21,000	7,800
定期預金の預入による支出	△4,750	△31,090
有形固定資産の取得による支出	△49,638	△91,765
有形固定資産の売却による収入	12,000	2,286
無形固定資産の取得による支出	△48,705	△17,804
投資有価証券の取得による支出	△3,491	△8,659
その他	485	498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,099	△138,734
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	28,281,000	29,866,100
短期借入金の返済による支出	△26,100,000	△28,463,000
長期借入金の返済による支出	△63,830	△222,800
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△55,617	△56,188
その他	△19,407	△27,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,042,144	1,086,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,155,461	639,936
現金及び現金同等物の期首残高	2,932,093	5,466,374
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,087,555	6,106,310

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	25,008,491	2,273,169	4,539,266	388,132	32,209,059	—	32,209,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,542,433	14,589	64,082	238	1,621,343	△1,621,343	—
計	26,550,925	2,287,758	4,603,348	388,370	33,830,403	△1,621,343	32,209,059
セグメント利益 又は損失(△)	312,015	△27,199	33,787	23,096	341,699	△66,100	275,599

(注)1 セグメント利益の調整額△66,100千円には、セグメント間取引消去2,652千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△68,752千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	39,124,004	2,121,977	4,697,258	482,216	46,425,457	—	46,425,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,586,095	17,922	59,183	951	1,664,152	△1,664,152	—
計	40,710,100	2,139,900	4,756,441	483,167	48,089,610	△1,664,152	46,425,457
セグメント利益 又は損失(△)	760,298	△32,109	32,395	18,586	779,171	△67,673	711,498

(注)1 セグメント利益の調整額△67,673千円には、セグメント間取引消去388千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△68,061千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。